

山形村未来新報

発行所：山形村/YUME プロ社
〒 028-8712 山形村霜畑 6-66-11

号 外

みらい

2010年6月13日(日曜日)

待望「夢の学舎」完成

知事が出席 盛大に祝賀会

2010年5月待望の「夢の学舎」が山形村霜畑地区に完成し、このほど関係者や支援大学関係者を招き、盛大に入所式が行われた。

この学舎には旧山形村霜畑中学校・同小学校・繫小学校、全国から公募した農林漁業を目指す若者が入所する。また都市部の山村留学希望者親子も同時に入学、地元の匠や自然環境学など学術研究者のITネットワークのサポートを受けながら、語学、コンピュータ処理技術を合わせた小中一環システムで学ぶ。

科学と自然の共生をめざし

同学舎の運営は岩手の詩人宮沢賢治の「自然と科学の共生」をテーマに概念を構成し、囲炉裏やコタツ、薪ストーブの使用も可能。熱源は木材ペレット分散型コージェネレーションシステムによる発電、給熱を同時に行う未来型である。



多目的な体育館は県産材大断面集成材による。前面はゴシック調のデザインで統一し、地元生産の準不燃木材と新しく開発された漆喰土壁を使用している。室内は最先端のセキュリティが採用され、関連器具も完備している。

囲炉裏に火入れする増田知事夫妻



鶏などの飼い方を学びながらメタンガスの採取室、高規格有機肥料実験室、家畜舎、トラクタなど農業支援機械倉庫も併設する。

山村留学や学術の研修も

「夢の学舎」には簡易宿泊施設が作られ、山村留学制度の受け入れ態勢を整えるほか、学生や学術研究者の現地研究など長期に宿泊しながらの調査や低額な宿泊費を可能にした。

また同学舎生徒には光ファイバーによるITネットワークにより最新の学術や大学のテレビ授業も取り入れ、文化館オラホールの図書館蔵書を村出身者や大学関係者の寄贈により充実させ、相互の支援体制を整える事になった。

この新聞は限りなく現実味を帯び、未来への希望を載せたフィクションである

市町村合併をチャンスに

事業費は市町村合併にかかる起債や国と岩手県の支援プラン、「次世代を担う教育の充実」「新世紀に適応した産業の振興」プランのうち、公立学校施設整備・農林水産業の振興・田園交流基盤整備・むらづくり維新森林山村都市共生の各事業を導入、都市住民などを育成のための研修施設事業も兼ね、国の資源循環型社会創出自然エネルギー活用技術プランによる研究や、その実践検証を行える研究棟が作られ、近くには牛や馬、

進む岩手の環境首都

増田知事の進める環境首都計画が着実に成果を上げだした。特に森林エネルギーを活用した木質コージェネシステムが普及している。大手の進出が相次いだのは未来型の燃料電池の生産がリンクできたからだ。

環境改善型の公共工事は従来の環境リスクを少なくし、沿岸の多様な漁獲高を高めた。安全な食料生産主義は都市部の消費を大幅に伸ばし、雇用の拡大を進め、県民の安心感と健康性確保によって人口も徐々に増加していることが分かった。(2010年3月岩手環境白書より)